

キミコエ・オーディション 課題演技

課題は①遅刻篇、②告白篇の2つです。

①、②を手持ちの録音機器、又は録画機器で収録し、キミコエ・オーディションホームページの「応募について」に従いWEB又は郵送にて提出してください。

①遅刻篇

★月曜の朝、あなたはまだベッドの中で夢を見ている。
時刻はすっかり寝坊の時間。

A子 「うーん、もうだめ、こんなたくさんの豚さん食べられないよー。
わかったわかった、へへへ、あとはラップしとくからあゝ。」

★そこでふっと目が覚めます。

A子 「あれえゝ 夢か。ハハハ、なんだろお腹すいてたのかな。
あゝ まずいゝ。
わあー遅刻遅刻!!
もーどうして目覚まし鳴らないの!? お母さんも起こしてくんないしー」

★家を出たあなたは出発直前のバスに乗ります。

A子 「待ってくださーい乗りまーす!
はあよかった、ありがとうございます。
とりあえず乗れたけどもう絶対遅刻だよ。

ゝ 大変、今日朝礼当番なのに、なんて言おう。うーんゝ。
えっと先生、遅刻してすいません、昨日遅くまでフェルマーの定理に挑んでいたもので。
知ってます? 中学生くらいの知識で理解できるのに決して解けない数学史上最大の難問と言
われていたアレです、解明まで三百年間もかかったんですよゝ って信じてもらえるわけない
か、こんなの。
あーどうしよう。」

★学校に着いたあなたは恐る恐る教室の扉を開きます。

A子 「ゝ 失礼しまーす。
って何で誰もいないのー!?
あ、今日、祝日だったゝ。」

②告白篇

★あなたは同級生の田中君に告白しようと朝のバス停に彼が来るのを待ち伏せています。
「○○○」の部分は田中くんとの会話、(×××)の部分はB子さんの心の中の声です。

B子 (あ、来た来た田中くん。よーし計画通り!! 「頑張れわたし!告白大作戦」第72弾スタート!)

「あ、田中くんおはよー!
なに? 珍しいね今日バスなんだ。いつも自転車通学じゃなかったっけ。」

(ふふふ、昨日あなたの自転車をパンクさせたのは私よ。水曜の補習のあとは自転車屋さんが閉まってて直せないのも想定済み!)

「そういえば、今日文化祭の委員決めるって言ってたよね。田中くん去年やってたじゃない? 今年はどうするの。」

わたし? そうだなあ、田中くんがやるなら私もやろっかなあ。

あ、別に変な意味じゃないよ。でも田中くんがやるのが一番いいと思うんだよね。

だってみんなにすごく人気あるじゃない?

すごく頭いいし運動もできるし、いろんなことちゃんとしててみんな信頼してるし。それってすごいと思うんだ。

だからね、私も。

ああ!! 由美子!! お、おはよー。

どしたの? 早いねー。」

(もう何で肝心な時に来るわけ?! 最悪のタイミングじゃない、むぎぎぎ。)

「いやいや何でもない、バスなかなか来ないなあって。」

(はあ また作戦失敗かあ 今度はどこかに閉じ込めるくらいしなきゃダメかもね。
部室? トイレ? あーもーどうしよー!!!)